

INFORMATION

T&D情報システム株式会社

2021年12月27日

FUJITSUファミリー会論文（2020年度）で、
当社従業員が執筆した論文が優秀論文などを受賞しました。

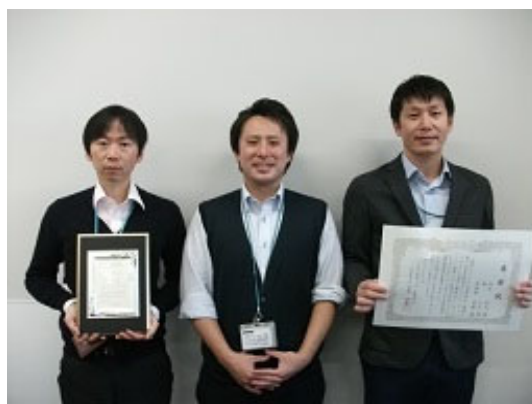
FUJITSUファミリー会論文（2020年度）（*）で、当社従業員が執筆した論文が「優秀論文」、「秀作論文」、「新人賞」を受賞しました。

■一般論文の部【優秀論文】

- 生命保険会社におけるパブリッククラウドの活用
～機動的なシステムインフラ構築とコスト最適化
を目指して～
・白石征久職員、堀仁人職員、佐田野直樹職員
（テクニカルサポート二部
（執筆時所属、以下同様）

■一般論文の部【秀作論文】

- 生命保険業における支社事務のコールセンター
集約
～集約率80%を目指して～
・杉本雄三職員、武田亮職員
（事業三部）



受賞した佐田野職員（左）、堀職員（中央）、白石職員（右）

■新人論文の部【新人賞】

- アジャイルのプラクティスを適用した作業の進め方
改善への取り組み
・木村信之職員
（事業五部）

■受賞者のコメント

- ・当論文は、当社における社内情報系システムのパブリッククラウド環境への移行を記述したものです。利用基準の整備やPoC、スモールスタートに始まり、クラウドへの移行、移行時に発生した課題や対策を纏めています。移行期間も長く、何より初めての取組みに苦労したことも多かったため、メンバー一同、受賞を大変嬉しく思っています。（白石征久職員）
- ・論文の執筆を通じて、長い年月を費やして開発してきたシステムを一貫して整理することができました。当時の開発背景や内容の振り返りに留まらず、最新のユーザ要望とのギャップを分析することで新たな課題を見つける良い機会となりました。また、開発したシステムを社外で客観的に評価してもらえる貴重な機会であり、発表内容が評価されたことで、これまでやってきたことに自信を持つことができモチベーションの向上に繋がりました。今後お客さま満足度の向上を念頭に、業務に取り組んでいきたいと思っております。（武田亮職員）
- ・本論文では、入社1年目に携わっていたプロジェクトで実践した、アジャイルのプラクティスを用いた作業改善の取り組みについて執筆しました。完成までには苦労もありましたが、先輩方のご助力のおかげで書き上げることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。今回の経験を通じて文章力を向上させることができたと感じるため、今後の業務に活かしていきたいです。（木村信之職員）

（*）FUJITSUファミリー会は、1964年に発足、2014年度で創設50周年を迎えた歴史のあるユーザー会。会員数は約3,900会員、年間約400回のイベントを開催し、情報通信システムのユーザー団体としては国内最大規模。「人材育成」「情報収集」「異業種交流」の3本柱を目的として活動しており、2018年度のファミリー会論文では「会員企業の課題解決に役立つICTを活用した事例」をテーマに論文を募集しており、自己成長・人材育成と、自社の取り組みを広く社外にアピールできる場ともなっている。

以上

本件に関するお問合せ先

T&D情報システム株式会社

経営企画部 経営総務課 048-825-6101